

再びの〈3.11〉へ向けて
アメリカ・ヨーロッパ・中国
— 鎮魂の世界巡礼への旅立ち —

TAMAYOBARI
魂手ばり



2/11 PM1:30~PM4:00
遠野市宮守町〈みやもりホール〉入場無料

あの日から一年が過ぎました。街・人・思い出、私たちが失ったものは数知れません。どれだけ多くの人が苦しみ、泣いたことか。

今も私たちの心は、過去と未来の狭間に揺れ動いています。

けれども、そんな出来事とひきかえに、私たちが思い起こしたことがあります。苦難の中で支え合う、人と人の絆の大切さです。

被災者とボランティアが、ふるさとと世界がつながり、未来に向かって歩み出しています。

一年の節目に私たちは、あの日天に昇った数多くの魂と、そのいのちを継いで生きてゆく私たちの魂を、

遠い昔から受け継がれてきたふるさとの郷土芸能に込めて世界に伝えてゆきたいと思います。

再びの〈3.11〉を前に、世界に旅立つふるさとの舞手たちに、どうかあなたの魂を託してください。

■ご挨拶 主催：NPO法人遠野まごころネット理事長 多田一彦 共催：遠野市長 本田敏秋 協力：国際交流基金 横道文司

●郷土芸能公演 湧水神楽(遠野市)、白澤鹿子踊り(大槌町) ●気仙語による詩の朗読 照井良平「ばあさんのせなか」

●メッセージ 黒森神楽(映像) ●魂移し 桜舞太鼓(釜石市)から鬼太鼓座へ

●世界巡礼への決意表明 湧水神楽、白澤鹿子踊、鬼太鼓座

主催：手つなぎプロジェクト実行委員会/遠野まごころネット
共催：遠野市 協力：国際交流基金

TAMAYOBARI 魂呼ばり

湧水神楽(遠野市)、黒森神楽(宮古市)、臼澤鹿子踊り(大槌町)の3団体は、2月29日からそれぞれ、アメリカ、フランス、中国、香港へ、「鎮魂の巡礼」という海外公演に旅立ちます。国際交流基金が進める、世界の人々と手をつなごうという事業の一環です。公演には被災地以外からも鬼太鼓座などプロの芸能集団が同行します。「魂呼ばり」は、皆さんから〈鬼太鼓座〉の方々に被災地の魂を吹き込んでもらう出発式です。「魂呼ばい」には、死者の魂を呼び戻すという意味も込められています。私たちの思いばかりでなく、犠牲者の魂も一緒に行ってもらいたいと思っています。3団体は、それぞれの公演先で、東日本大震災を語り伝え、みんなで手をつないでくる予定です。一人でも多くの皆様の心と祈りを託して、この「鎮魂の巡礼」を見送りたいと思います。

〈芸能公演〉

■湧水神楽(遠野市) ■臼澤鹿子踊り(大槌町)

〈気仙語による詩の朗読〉

■照井良平氏(花巻市)

〈映像とメッセージ〉

■黒森神楽(宮古市)

〈魂移し〉

■桜舞太鼓(釜石市)から鬼太鼓座へ

照井良平氏:「文化の国体」と呼ばれる国民文化祭の今年度の現代詩部門で、「ばあさんのせなか」が、最優秀賞にあたる文部科学大臣賞を受賞。実家の陸前高田市のがれきに立つお年寄りの心と、ふるさとを流された自分の思いを重ねた作品です。

ばあさんのせなか
照井 良平

ばあさん こそすわって
なにしてんのす
なんだってかんだって
こんであなツナミ
おら なんにも
わりごと してねあのにさあ
むすめまごまで
さらっていかれてしまったあ
まあだ 見つかつていねあのつす
いまごろ こんなさむどこ
どこで なんじよにしているがとおもど
むせあくてもせあくても
いでもたつてもいられなくなつてさあ
はんで はまさきて
こうしてんのす

ほんなん

ひとりであるといろんなごおもつてなあす
せんだつて
むすめがら としよりのメガネ
まごがら ツメきりつこ
プレセントつてやつ もらつてさあ
おもつしよかつたなあす
それもツナミに
もつていかれてしまったあ
ほんだからえんす
がつかりしてしまつてなあす
それおもど はやくはやく
むすめとまごんどこさ いぎであども
おりや いなくなるどたれも
むすめとまごが見つかつたとき
おがんであげるひとがいなくなるからさあ
ほんであ むすめとまごが
むせあがらし
わがらんすか

このむねのながつこ
ほんだから むすめとまごだじがら見える
ここんどこの たがいどこさきて
てをあわせ はやくけあつてこつ
おりあいきでるあいだにけあつてこつ
まいにち よんでんのす
いぎるつて このとしになつても
ままになんねあもんで
があんすなあ
はやく

あつたがくなれば
よがんすんすなあ
ばあさん

主催:手つなぎプロジェクト実行委員会/遠野まごころネット
共催:遠野市 協力:国際交流基金